

大阪彩都心理センター <http://saitokodomo.com/>

文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」

「就業ということ」

2011年11月9日 10:40-12:10 甲南大学18号館講演室にて

主 催

甲南大学大FD委員会／大学企画室

講 師

大阪彩都心理センター 竹田伸子（臨床心理士）

趣 旨

文部科学省が推進する「大学生の就業力育成支援事業」とは「各大学・短期大学における、産業界等との連携による実学的専門教育を含む、学生の卒業後の社会的・職業的自立に向けた新たな取組を国として支援する」というもの。その採択を受けた甲南大学は社会的・職業的自律に向けた指導に取り組むこととなり、大学で学ぶ専門教育が社会や将来働く場でどのように関連するのかを知る機会を設けることを目的として今回、大学3回生・4回生対象に実施された。

内 容

「就業」ということは、どういうことだろう

- ・キャリア形成と自分形成は私の中でどう関連しているだろうか
- ・道を選ぶ時、それがプラスに転じるかマイナスに転じるか、それは進んでみなければわからない
 - ・道は、選ぶ(能動的)のか、それとも、授かる(受動的)のか
 - ・「幸せになりたい」では幸せになれない。「自分を幸せにする」と決意しよう
- ・就職を、会社名や業種ではなく、「自分の好きな／得意な作業」を軸にして考えてみよう
 - ・「自分の好きな／得意な作業」は何だろう。次の7つから選んでみよう
- ・自分に合う仕事はすでにどこかに「在る」のではない。自分で作っていく。企業もそれを期待している。